



ホームセンター創業50周年

JUNTENDO

ジュンテンドーのあゆみ

1894(明治27)年 医薬品販売業 順天堂薬局創業

1969(昭和44)年 日本初のホームセンターとして、益田市に「幸せを売るバラエティストア順天堂駅前店」を開店
1971年(昭和46年)より店名を「順天堂ハウジングランド」に変更する。



1980(昭和55)年 店名を「ホームセンター順天堂」に変更

1987(昭和62)年 ホームセンターが100店を突破
株式会社ジュンテンドーに商号変更

1989(平成元年)年 広島証券取引所に株式を上場



1991(平成3)年 大阪証券取引所第2部に株式を上場

2000(平成12)年 東京証券取引所第2部に株式を上場

2006(平成18)年 ホームセンター事業でポイントシステム導入開始

2011(平成23)年 岡山県倉敷市に1800坪の「ジュンテンドー茶屋町店」をオープン

2019(平成31/令和元年)年 京都府舞鶴市に複合型商業施設「ジュンテンドー西舞鶴モール」をオープン(2月)



ホームセンター創業50周年を迎える(9月27日)

ジュンテンドー飯塚正社長に聞く



いいずか・ただし 横浜国立大学卒。1987年にジュンテンドーに入社し、97年に常務取締役。営業本部長、開発本部長を経て、2005年に社長に就任。59歳。

日本初の業態 地域に根付く

ジュンテンドー(益田市下本郷町)が益田市に日本で初めてとなるホームセンターを開店してから27日で50年を迎えた。豊富な品揃えと丁寧な接客で消費者の支持を集め、西日本で約120店舗以上を展開するまでに成長。節目を迎えた同社の飯塚正社長に、同市在住のフリーアナウンサー原田笑さんがこれまでの歩みや今後の戦略を聞いた。

フリーアナウンサー 原田 笑さん

原田 1969(昭和44)年、父(故道正氏)も大年9月27日に開店した「幸せを売るバラエティストア順天堂駅前店」は日本初のホームセンターという点で、ご苦労も多かったのではないですか。

飯塚 私が入社したのは87年で、会社はそれなりの規模になっていました。1号店の開店は何かと口から作り上げなければならぬ。専門的な知識を

原田 20年ほど前から店舗面積が千坪ほどの大型店を開発するようになり、大型店を運営していくには他社にはない強みをつくる必要があります。そこで、農業、園芸、金物、工具の専門店になるという戦略を進めました。社員に農

原田 2月に京都府舞鶴市でオープンした、御社で

原田 益田は人口が少なく、公共交通網も十分に整備されていないなど都会地と比べて不便な点もあり、しかし、大きなことにチャレンジしようという精神が根付いており、上場はしてなくても全国的な知名度がある企業はあります。弊社もそうしたチャレンジ精神から生まれた企業です。地元に戻すという思いを込めて、今後お客様に喜んでいただける商売を続けていきます。

持った店員の方から丁寧な商品の説明をしていただいていたことがあり、印象に残っています。

飯塚 20年ほど前から店舗面積が千坪ほどの大型店を開発するようになり、大型店を運営していくには他社にはない強みをつくる必要があります。そこで、農業、園芸、金物、工具の専門店になるという戦略を進めました。社員に農



対談する飯塚正社長と原田笑さん

原田 ホームセンター創業50周年という節目を迎え、力を入れようとお考えのこととはありますか。

飯塚 ジュンテンドーを担う次の世代の人材を育てることにしています。対象は今の30、40代の社員になると思いますが、育てるというよりも自ら育ってもらえる環境を整えようと考えています。

原田 島根県西部に本社を置く企業で唯一の上場企業として、今後目指されることはありますか。

機メーカーの講習を受けさせるなどして専門知識を習得する努力を続けたことが、接客技術の向上につながったと思います。

原田 営業エリア内の市や町と災害時の物資供給に関する協定を結んでおられます。狙いは何ですか。

飯塚 以前から災害発生時に必要な物資を提供してほしいと、国や島根県から依頼があり、対応してきましたが、国や県というレベルではなかなか迅速に対応できないかと思っていました。昨年、弊社の店舗も大きな被害を受けた西日本豪雨があり、災害時には少しでも早く、必要な物資を現場に届けることが大切だとあらためて痛感し、市や町と、ガスボンベや乾電池などの物資を避難所に供給する協定を結ぶようになりました。

津和野、吉賀3市町を舞台に製作した映画「高津川」に協賛されるなど、地元に関する事業の支援にも積極的です。

飯塚 益田が映画の舞台になることはなかなかあり得ないと思います。

原田 ホームセンターや、衣料品店などが入る複合型した店舗を建て替える形で、千坪程度の大型店は年々、2店は出店したいと考えています。ドラッグストアなど他業態との競争も激しくなっており、園芸用品や金物などホームセンターならではの商品を提供する大型店を増やすことで競争を勝ち抜きたいと思っています。

の施設の開設は今のところ考えていませんが、老朽化した店舗を建て替える形で、千坪程度の大型店は年々、2店は出店したいと考えています。ドラッグストアなど他業態との競争も激しくなっており、園芸用品や金物などホームセンターならではの商品を提供する大型店を増やすことで競争を勝ち抜きたいと思っています。

『事多きなかに』(昭和44年(1969年)1月1日)

明けましておめでとうございます。私たちは、新しい年が明けると、今年一年どうぞ事なく過ごせますようにと、神仏に祈願をします。

しかし、息つく間もないほど、事多いのが人の世であり人生です。事多いからこそ、私たちは、心もふるいたち勇気も湧くのです。そして、…時には命をかけるほどの思いもあふれてくるのです。

事なき姿がめでたいではありません。事多きなかに進んで意欲をもやし、新たな思いを生み出すことがもっとめでたいのです。

今年是我社のチェーンストア展開元年の年です。まさに事多き年です。

私は皆さんの先頭に立ち、日本国民の一人として、誇り高き商業人の一人として、意欲も新たに、会社にかかわるすべての人々のより高き繁栄とより豊かな生活への道を切り開いていく覚悟です。

事多きなかに真のめでたさを生み出したいと思えます。

昭和44年1月1日、ホームセンター創業者である飯塚道正は、このような新年のあいさつを有限会社「順天堂」(当時)の全社員に送りました。この年の9月27日、「しあわせを売るバラエティ・ストア順天堂」を益田市駅前町に開店。日本で初めてとなるホームセンタージュンテンドーの歴史はここに始まりました。



そして、本日9月27日、株式会社ジュンテンドーはホームセンター創業50周年を迎えることができました。

これもひとえに長年当社を支えてくださった皆様のご支援とご愛顧の賜物と存じ、厚く御礼申し上げます。

これを機に社員一同、心を新たにして、皆様のご期待に添えるよう、より一層努力してまいります。

今後とも、末永くご支援、ご愛顧をいただきますようよろしくお願い申し上げます。